

「多文化共生」を考える研修会2017

兵庫県には、154か国、約10.2万人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、今回で17回目を迎える『多文化共生』を考える研修会を下記内容で開催します。興味のある方は、是非、ご参加ください。

第1回 8月21日(月) 会場 国際健康開発センター3階 会議室1


【総論】

13:30~13:35 主催者あいさつ

「ハーフの視点」で語る

13:35~15:00 「純ジャパとのたたかい〜ステレオタイプが
生み出す他者理解の落とし穴〜」

サンドラ・ヘフェリン(コラムニスト)



サンドラ・ヘフェリン
コラムニスト。ドイツ・ミュンヘン出身。日本歴20年。日本語とドイツ語の両方が母国語。自身が日独ハーフであることから、「ハーフといじめ問題」、「バイリンガル教育について」など、「多文化共生」をテーマに執筆活動をしている。著書に「ハーフが美人なんて妄想ですから!!」(中公新書ラクレ)、「ニッポン在住ハーフな私の切実で笑える100のモンダイ」(ヒラマツオとの共著/メディアファクトリー)、「爆笑! クールジャパン」(片桐了との共著/アスコム)、「満員電車は観光地!?!」(男の価値は年収より「お尻」?! ドイツ人のびっくり恋愛事情) (流水りんこととの共著/KKベストセラーズ) など計12冊。ホームページ「ハーフを考えよう!」
<http://half-sandra.com/> を運営。

15:15~16:45 「歴史に学ぶ

〜国と国の架け橋として生きた人たち〜

江宮 隆之 (作家)

江宮 隆之
「経清記」で第13回歴史文学賞受賞。『白磁の人』で第8回中村星湖賞受賞。他の著書に『母ちゃん(オンマ)』、『慈雨の人』他がある。

第2回 8月23日(水) 会場 海外移住と文化の交流センター5階

【外国にルーツを持つ子どもの教育】

13:30~15:00 「外国籍児童就学前学校体験教室

『ぴよぴよクラス』 及び就学後教育支援」

堀 永乃 (一般社団法人グローバル人材サポート浜松代表理事)

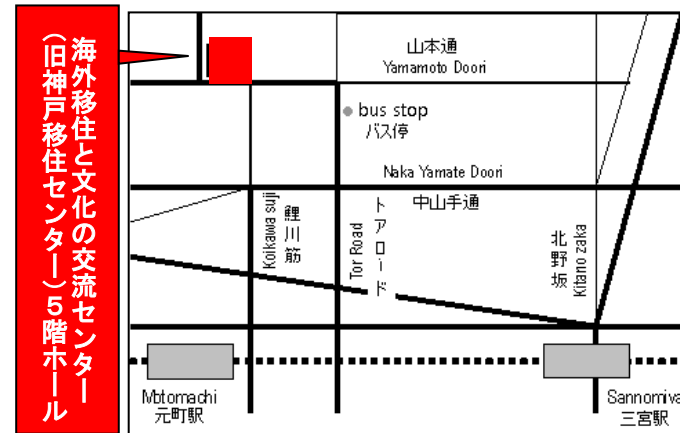
成岡 優輝 (Wide International Support in Hamamatsu (WISH)代表、
静岡文化芸術大学2年)

15:15~16:45 「大阪府における高校特別入学卒の変遷と

入学後の支援」

橋本 義範 (NPO 法人おおさかこども多文化センター事務局長)

白石 素子 (大阪府立門真なみはや高等学校教諭)



定員60名

〈会場〉

※8月23日(水)のみ

海外移住と文化の
交流センター
5階ホール
神戸市中央区山本通
3-19-8

第3回 8月25日(金) 会場 国際健康開発センター3階 会議室1

【多様性を理解するために必要なこととは】

13:30~15:00 「共生と日本語教育」

山野上 隆史 (公益財団法人とよなか国際交流協会事務局長)

15:15~16:45 「多文化社会に向けた市民性教育〜オーストラ
リアと日本の取り組みが示唆するもの〜」

見世 千賀子 (東京学芸大学国際教育センター准教授)

第4回 8月28日(月) 会場 国際健康開発センター3階 会議室1

【海外・日本の移民と国民の状況】

13:30~15:00 「ベトナムから見る技能実習制度と実態」

齊藤 善久 (神戸大学大学院准教授)

15:15~16:45 「ヨーロッパにおける多文化主義の“失敗”
から、日本の目指すべき国家像を考える」
谷口 功一 (首都大学東京法学系教授)

【資料代】 500円/回
(全回参加で初回納付の方のみ1,500円)

【申込締切】 8月16日(水)

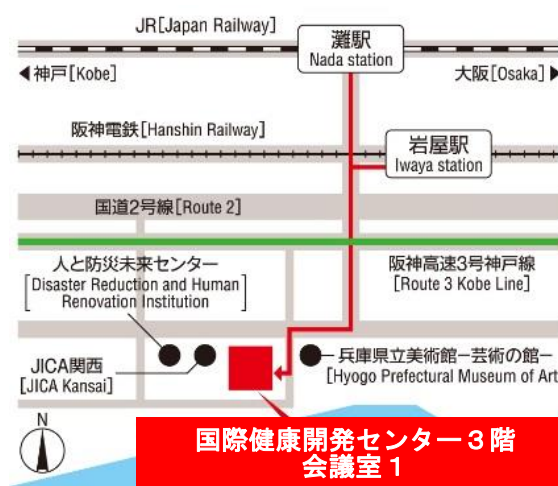
【申込方法】 ①お名前、②所属等、③連絡先(TEL、
FAX 又は E-mail)、④参加を希望する日
の4点を明記して、FAX 又は E-mail で下
記申込先までお申し込みください。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人神戸定住外国人支援センター (KFC)
TEL:078-612-2402 FAX:078-612-3052
E-mail: kfc@social-b.net

会場

8月21日(月), 8月25日(金), 8月28日(月)



1回だけでも
参加できます

各回定員60名

国際健康開発センター
3階会議室1
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-1